

令和4年度第2回さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議（要旨）

- 1 日 時 令和4年10月24日（月）13：00～14：15
- 2 場 所 さぬき市役所 3階 302会議室
- 3 出席者 **【委員】** 尾崎委員 大塚委員 長山委員 山崎委員 小池委員
金江委員 長谷委員
【事務局】 向井審議監 間嶋政策課長 矢野課長補佐 原田課長補佐
酒井総務課長
- 4 傍聴者 1名
- 5 会議次第
 - 1 開会
 - 2 座長挨拶
 - 3 議事
 - (1) 提言書「さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に向けて」（案）について
 - 4 事務連絡
 - 5 閉会
- 6 配布資料 さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に向けて（案）
参考1：さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議意見書
（委員意見集約版）
参考2：第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI 達成状況
調査票（第1回有識者会議質疑回答書）
参考3：第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI 変更調査票
- 7 議事の経過及び発言要旨

発言者	意見概要
	＜ 開 会 ＞（13：00）
政策課長	<p>本日、出席いただく委員全員おそろいですので、令和4年度第2回さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議を始めさせていただきたいと思います。</p> <p>井出委員につきましては、本日欠席の連絡をいただいておりますことをご報告させていただきます。</p> <p>ここで、会議の公開についてお諮りさせていただきます。</p> <p>さぬき市附属機関の委員の構成及び会議の公開に関する指針及びさぬき市情報公開条例に照らし、附属機関の会議は公開となります。本会議も指針等に基づき、公開とさせていただきますことにご了承いただけますでしょうか。</p>
委員	＜委員了承＞

政策課長	<p>ありがとうございます。</p> <p>本日の傍聴申請は1名申請いただいております。入室いただいておりますので、ご報告させていただきます。</p> <p>会議中、傍聴の希望があった場合には、随時入室を許可することといたします。</p> <p>それでは、本有識者会議設置要綱第6条の規定に基づき、議事進行につきましては、座長の方で進めるとなっておりますことから、長山座長よりご挨拶いただき、そのまま議事の進行にお移りいただきますようお願いいたします。</p>
座長	<p><座長あいさつ></p> <p>本日は15時前に終わるようにしたいと思いますので、ご協力のほどお願いします。</p> <p>それでは、議題に入ります。「提言書 さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に向けて（案）」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><事務局説明></p>
座長	<p>ご意見ご質問等承りたいと思います。</p> <p>また、意見集約時にはお寄せいただかなかった点についても盛り込んでほしいということであれば、変更は可能ですので忌憚のないご意見をお寄せいただけたらと思います。追加のご質問等でも構いません。</p> <p>本文とは関係はないが、「市が支援した企業の商品化・販路開拓成約件数」の補助金について、「予算上限に達したため終了」とある。1件当たりの上限と予算との両方で縛りがあり、大型案件が続くと予算上限になるという意味か。</p>
事務局	<p>年度開始時に申請募集を行うが、最初に申請が集中するので、すぐに予算上限に達してしまう状況です。</p>
座長	<p>それで、第一四半期ぐらいで予算を使い切ってしまうのか。</p>
事務局	<p>そうです。</p>
座長	<p>予算上限が理由で、達成率がCというのは管理運営上、あまり良くないと思います。予算が十分でないのか。</p>

委員	1件当たりの金額が大きいということか。
座長	そういうことなら、件数で数えるのは止めたほうがよいのではないか。Cから改善することが難しい。
事務局	第2期の総合戦略の計画値を設定する時から比べると、補助金をもらえる対象事業が増えている。
座長	他の分野に食われたという意味か。
事務局	そうです。この分野は少ないが、全体としては31件、事業者としては22社が補助対象になっているので、KPI自体をこの補助金で出している全ての項目に当てはめたらよいのかもしれない。
座長	IT活用が8件、自社PRツール活用が9件、これで17件で過半になっている。商品化と販路開拓の申請が後から来たとしたら予算がないから受けられない。
事務局	コロナの時期とも重なっているので、ネット販売やホームページ活用に対する申請が増えてきた。
座長	KPIの設定が狭過ぎたのか、それともメニューが広過ぎたのか、どちらにも取れるが、少し練り直したほうがいいのかも。内容については理解できた。
委員	提言書2ページの男性育休率の向上というところについて、10月1日から育休制度は、企業側が就業規則の中に規定して、申請があれば拒めない状況になっている。これまでは、育休を与えるか与えないかは企業側判断の部分もあったが、これからは申請者側に対する啓発が必要になってくるのではないか。
座長	10月1日からの制度施行により、究極的には本人が申請を出すかどうか重要な要素になったのではないかと。ということだ。
委員	啓発企業数を目標とするのではなく、個人になるとKPIをどうするのか、難しい。
事務局	民間企業の個人の取得実績は市ではわからない。

座長	労働保険なので市役所は関係ない。県でさえデータは持っているかどうかわからない。
委員	間口を広く取るなら、10月から国の制度となっているから、社内の就業規則なりで謳って制度運用上、整備できているかということで、啓発したと捉えるか、もう少し拡大解釈して、企業側がそういう準備ができているかということの啓発という捉え方でもいいかもしれない。
座長	市の男性職員の育児休業取得状況について、公表するぐらいはしたらどうかという意見があったが、公表しているという回答があるが、これは何人ぐらいいるのか。
事務局	すみません、確認していません。
座長	後でホームページを見ておきます。本当は、民間でどのくらい取得されているか、もしくは1人でも取得した企業数は何社あるのか、といった方が本当は良いのだろうが、捕捉できない。直感的な理解だが、雇用保険から出る所得補償の率が低すぎるので、男性の育休取得を普及させるにはもう少し高くしないといけない。男性と女性とで半々ぐらい取ろうとしたら、家計にダメージが来る。ただ、これは国の政策なので市役所がどうこうできるわけではない。 ふるさと納税が増えているが、農水省からの調達補助というのは影響しているのか。それとも、これは微々たるもので象徴的な意味でしかないのか。補助としてはどれくらいもらったのか。また、この補助は今年も継続してもらえるものか。
事務局	確認しておきます。
座長	ふるさと納税額が多かった主な理由がこれだと認識したから、担当課はここに書いたと思うが、この補助がどれくらい効いたのかと思いました。
委員	ふるさと納税に協力させて頂いたが、私達には来ていないので、補助がどこに行ったのかが少し気になった。
座長	この補助金はどういうタイプの補助金なのか。
委員	農産物でなくても、工芸品とかでも活用できるのか。

座長	「より多くの量の品を調達する」ことができるとあるので、調達量が増えるみたいなイメージなのか。それだと買い取られる側の地元農家の人には区別がつかない。「いつもと同じ量の品の調達費用を減額させることもでき」ともある。
委員	本来、市が払うべき部分が削減されました、なのかが知りたい。
座長	いっぱい買ってくれたのか、それとも市の予算を削って調達費用は一緒だったのか。
委員	農林水産省が、ふるさと納税の農生産物を増やしてくださいという取り組みなのか。
座長	<p>どういう運用をしたかは、担当課に聞けば普通にお答えして頂けると思います。全国的に行った補助なら、他の自治体とも競争条件は同じはずで、この補助金があったから寄附金が増えたとは考えにくい。</p> <p>差し支えなければ、予算額と補助金をいくらもらったのか、その補助金分をプラスして地元からどれだけ買い取ったのかを調べていただいて書面で皆さんに送ってください。</p>
事務局	<p>わかりました。</p> <p>先程の男性育休の取得についてですが、令和3年度、申請できる対象者が10人いた中で取得者は2人いらっしゃいました。</p>
座長	2割なら立派だ。民間企業よりは高く、公共として高いかどうかは別だが、10人中2人といえば、公表して恥ずかしいというほどの数字ではない。
委員	ふるさと納税のところで、「共感が得られる事業には寄附が集まっている事例もあり、市民が共感できる事業や寄附したいと思える事業に寄附ができる戦略的な取組を期待する。」というところの、「市民が共感できる事業」の市民とはさぬき市民か。主語は「寄附者」ではないか。
事務局	修正致します。
座長	最初の「共感」は市民も寄附者も含んでいるつもりで書いたのか。後ろは「寄附したい」として共感という言葉を避けている。

委員	<p>主語を「寄附者が共感できる事業や寄附したいと思える事業に戦略的に」とした方がよいのではないか。</p> <p>個人寄附もあるし、企業版ふるさと納税もあるから、全部ひっくるめると寄附者という表現のほうがよい。</p>
事務局	わかりました。
政策課長	先程のふるさと納税のチャレンジ応援品について総務課長より概要説明をします。
座長	チャレンジ応援品というのは、仕組み自体は資料に書いてあるが、どれくらい補助金をもらい、どのような運用がなされたのか。
総務課長	農林水産省の事業で、実際のところは、事業者からやりたいということで手を挙げてきた。それまで市も把握していなかったが、せっかくの機会なのでやってみようということで取り組んだのが経緯である。
座長	市役所が申請するのではなく、事業者に補助金が出るタイプか。
総務課長	はい。事業者自身が申請を出し、採択された。
座長	間接補助金ではなくて、生産者に対する直接補助金ということか。
総務課長	はい。チャレンジ応援品の事業は期間が1ヶ月（8月15日（日）から9月14日（火）まで）の期間限定の事業で、686件の寄附があった。寄附額は1件が1万円のものだったので、寄附額としては686万円だった。寄附者は、返礼品を通常の倍の量で貰えるなどの魅力があるので、寄附がしやすい返礼品を提供できたと思っている。
座長	事業者がもらった補助金は返礼品等の調達に係る費用ということか。
総務課長	そうです。
座長	補助金分だけたくさん納品できるということか。
総務課長	はい。だから、返礼品を沢山準備できる事業者でないと事業を実施することができず、少ししか納品できないような小さな会社だと、手を挙げることもできない事業だった

	ようです。
座長	先程の説明では期間限定のようだったが、1回だけだったのか。
総務課長	昨年度は指定期間の中で約1ヶ月間返礼品として出せるというものだった。もしほかにも事業者がいれば、市としては検討するつもりであったが、該当がなかった。
座長	差しさわりなければ、商品は何だったのか。
総務課長	海産物です。
座長	農水省がやっている範囲だったらOKということで、農林水産でいけるもの全部ということか。それだとロットが立てられる水産は有利な感じがする。
総務課長	販路多様化緊急対策という事業であり、コロナ対策だったので、過去と比較して売上が下がっていることが条件だった。だから、その条件で申請できないところが多かったと聞いている。この制度は、たまたま2年間続いていて、前の年は私も知らなかった。来年あるかどうか今はまだ把握していない。
座長	特殊な補助事業だったということか。ここに書いてあったので、これが効いたのかと思ったが、これが3億8,000万円だった理由ではないのか。
総務課長	こういうことにも取り組みましたということで記載しました。1度もやったことがないものだったが、事業者もやる気を出して下さっていますということをお願いしたかった。
座長	積極的な取り組みも行われていますよということ。よくわかりました。
総務課長	今回、寄附額が上がった要因としては、ポータルサイトを増やしたというのが1点と、地元で中間事業者を1か所お願いしたということが1点あります。プロポーザルをして決まった中間事業者がさぬき市に事務所を置き、さぬき市内外から雇用をしていただいた。その中間事業者が市と密に連絡を取り、事業者にもよく足を運んで頂いたことで、ふるさと納税は手間が掛からず売り上げや販路拡大ができることを、ある程度市内の事業者にPRできたことも要因で、少しずつ返礼品提供事業者も増え、登録返礼品も増えてきたので、寄附額も増えてきたと思う。

座長	中間事業者が地元にあると、取りまとめ役になって、地元の商品を発掘してくれるので、あるとないとでは全然違う。
総務課長	写真を撮って頂いたり、コメントの手直しをして頂いたり、手取り足取り対応して頂いている。
座長	プロが入ると全然違う。
総務課長	今回は、そこが大きかったと思っている。
座長	一時的なものではなく、ある程度、定着する可能性はあるのか。
総務課長	10月でやっと1年が経つ。昨年、中間事業者や職員は、ポータルサイトや返礼品を増やしたりと頑張ったので、今年はそれ以上に市内の事業者へ返礼品を出して頂けたらと思っている。
座長	一度、寄附を始めた人は、原則的に止めないと言われていて、いよいよ1兆円の大台が見えてきている。波に乗り遅れないように、4億でも5億でも、更に集められたらいい。
委員	最近感じているのが、ふるさと納税達人みたいな人がいて、生活用品などを全部ふるさと納税で賄っている。日常生活の中で必要なもので返礼品にないものをラインナップすると、それに食い付いてくる寄附者が今はいるような気がする。だから返礼品に何を出すかというところ、ふるさと納税の返礼品の考え方みたいなものが進化して、寄附者が上手にふるさと納税を使う、というステージに変わっている。
総務課長	寄附者はそのように使っていると思う。一方で、ふるさと納税を知らない方もまだ多いので、シェアは広いと思っている。さらに、市としては返礼品を品物だけではなく、体験や宿泊というものにも広げようと考えているところなので、情報があれば教えていただきたい。
委員	返礼品の商品戦略は、大事だ。商品の組み立ても非常に大事になってくる。
総務課長	返礼品は市内の物でないといけませんが、工夫をしている市町村は寄附額が増えている

	ようだ。
委員	その商品を誰かにプレゼントすることもできるのか。
総務課長	できます。寄附者と配送先は違って構わないので、贈答品としての使い方をされている方もいる。そういうことも今後考えていかなければならないと思っている。
委員	ふるさと納税専門に考える5人ぐらいの部署が必要になってくる。
総務課長	この前、市内の人が新聞に投稿していたが、貸している土地で栽培されたジャガイモがふるさと納税を通じて全国に出ているのを知って、嬉しかったという人もいる。さぬき市は何でもあるというのを、市外へアピールする機会にしようと思っている。それだけの物がそろそろ町はなかなかないらしく、中間事業者も喜んでくださっている。これという物がなくても何でもそろそろ町ということでアピールもできるので、頑張っ て様々な返礼品がそろそろ町にしようと思っている。
座長	まだふるさと納税をやっていない人はいくらでもいるので、ブルーオーシャンと同じ でいくらでも市場は広がっている。ただ、総務省がどこかで止めるような気はするが、 まだ暫くはいけるだろう。さぬき市ぐらいだと一般財源で4億、5億のお金は大きい し、地元に対する波及効果が大きい。地元の産業振興のPRにもなるし、ブランド化 にもなる。要は何事も使えようだ。
委員	具体的な施策等で、提言書に触れていない項目がある。書かれていない項目があ るなら付け加えてもいいのではないか。
座長	学童保育は載っていない。
事務局	学童保育に関しては、5．6年生まで拡大することになっていて、体制が整ったとい うことで、提言ではないので載せていない。
座長	足りないところを中心に反映したということのようだ。 参考3は、K P Iの変更理由または変更しない理由で、原則、達成したものは情報修 正をお願いしたわけだ。
事務局	そうです。令和6年が最終年度ですが、既に令和6年度の計画値を達成してるものに

	<p>ついて、原課に確認して、変更する・しないと、その理由を書いて頂いています。市民病院関係は、やはりコロナの影響があったりしますので、様子を見たいということになっています。実質、変更するのは5指標で、変更後の計画値に変更する予定にしております。</p>
座長	<p>変更できるものもあれば、市民病院関連のように変更することが難しい事情もあるわけですね。</p>
委員	<p>基本目標1の創業支援というテーマと、2つめの後継者不足ということについて、それぞれが単独でテーマとして成り立つものだが、無から有を産むだけではなくて、2つめの後継者がいないということについては、事業を初めての方が継ぐという組み合わせもある。特段、提言書のどの文を変えるということではなくて、市の取り組み方として、これからは、多様な形が生まれてくるので、選択肢はいろいろあるわけで、それぞれが絡んでくるし、個別のテーマの連携みたいなことをイメージされたほうがいい。最終目標は、地域が賑わうとか、雇用が確保されるとか、経済としての取り引き額が応分であるということなのだから、創業する人が増えないと意味がないというものでは決していないので、進め方は柔軟に対応して頂いたらよい。</p>
座長	<p>地域振興はひとつだけ解決するというよりは、何か解決策を思いついたら、その波及効果でいくつか効果は出るものだ。最初の歯車さえ噛み合えば上手くいくわけだが、突破口が見つかれば、そこに財源を集中的に投下するという手もある。民間企業と違って、思い切ったことは難しいが、何かをきっかけにそこからこじ開けていくみたいなやり方はあるような気がする。</p>
委員	<p>7、8年前ぐらいから「継行」という言葉がちゃんとある。これは、まさしく誰かがやっていた事業を継続して繋ぐということ。今から高齢化の問題もあるし、コロナの中で融資の返済が滞り事業を停止するといったケースも出てくるかもしれない。その時にその会社を消滅させてしまうのか、誰か意欲のある人が継続して、その時は別途、何か支援が必要になるかもしれないが、そういうコンセプトみたいなものを勉強していただいて対応してほしい。</p>
座長	<p>よろしいですか。</p> <p>では、本日の皆様のご意見を組み込んだ提言書を作成したいと思います。また、年内を目途に提言書をまち・ひと・しごと創生本部長である大山市長に提出しますので、提言書の内容等、細かい文言は座長一任とさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p>

事務局	<p>また、市長への提出方法と時期等につきましても、コロナウイルスが冬場になって、また猛威を振るうかもしれませんので、これについてもすみませんが座長一任とさせていただきます。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、事務局のほうで連絡事項等ございますか。</p> <p><事務連絡></p>
座長	<p>ありがとうございます。</p> <p>以上で本日の会議を終了致します。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p> <p>お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: center;">< 閉 会 > (14 : 20)</p>